

2021年2月24日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額

ファンド名	2021年 2月22日 基準価額(円)	2021年 2月24日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
シングルα・米ドルコース	1,518	1,436	▲82	5.40▲

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2021年2月19日	2021年2月22日	騰落率 (%)
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	35.68	33.47	▲6.19

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、2月19日と2月22日と比較しています。

	2021年2月19日	2021年2月22日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	105.63	105.08	▲0.52

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、2月19日と2月22日と比較しています。
為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

2月22日のブラジル株式市場は下落しました。ブラジルでは、ボルソナロ大統領が燃料価格に関して対立していた国営のブラジル石油公社(ペトロブラス)のCEO(最高経営責任者)を国家に対してコミットメントを示していないとの理由などから更迭すると発表し、合わせて政権内でも電力部門などで十分に役割を果たしていない人員を刷新する準備も進めていると述べたため、ブラジル株式は大幅に下落しました。また、通貨ブラジルレアルについても米ドルに対し下落しました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

ブラジルでは、新型コロナウイルスの感染拡大から金銭的な悪影響を軽減するための低所得者向け現金給付プログラムが昨年12月に終了したことなどから、ボルソナロ大統領の支持率が過去最低水準近辺まで低下しており、同大統領の手腕が注目されていましたが、今回の動きが市場より嫌気され、ブラジル株式および通貨ブラジルレアルが急速に売られる展開となりました。ボルソナロ政権の政策や政局の動きに引き続き注視する必要がありますが、現時点での株価の急落は主に短期的なリスク回避の動きによるものとみており、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場は落ち着きを取り戻すと見込んでいます。また、新型コロナウイルスのワクチン普及が早期の経済活動正常化への期待につながり、ブラジルの主要輸出品目である鉄鉱石や石油などの価格が回復していることや世界的な金融緩和の動きが継続していることなどが株式市場のサポート要因となると期待されます。中長期的な観点では、若年層の構成比が高い人口構造を有しており、国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、安定的な国内政治の運営の実現とともに、株式市場は成長軌道に乗っていくとみています。

以上

* iShares®(i シェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の 0.55% または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円**

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年 2.035%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

***詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。**

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。